

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒に渡してください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに对処いただきたいと、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・ハードディスクに保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに对処いただきたいと、重ねてお願い申し上げます。

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するのですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)にしたがって走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

 T AD09-0033005
R 005WWCA0234

- 本製品には、株式会社リコーがデザイン制作したリコーJetフォントを使用しております。

ACCESS™

NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

 アドバイス	<ul style="list-style-type: none">お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
 お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示しています。
 MENU	本体のパネル部のボタンを表します。
 目的地	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
 ■／□	操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。

使用上の注意事項等

●デュアルサイズHDDナビコンポの操作

- 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
- 運転中に画面を注視しないでください。

●本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

このシステムでできること

このシステムには、快適なドライブをするための様々な機能が用意されています。それぞれの機能の特長をご理解いただき、正しくご使用ください。

ナビゲーション P45

表示が見やすくわかりやすい、タッチパネルコントロールと見やすい画面と音声で、わかりやすいルート案内（道案内）を行ないます。

VICS P150

渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

ETC **別売品** P148、149、259～264

高速道路料金所で現金やクレジットカードなどの受け渡しを行なわずに通過することができます。

インターナビ 別冊

携帯電話（Bluetooth機能あり）を使用して、インターナビ情報センターと通信し、快適なドライブ情報サービスを利用することができます。

オーディオ・地上デジタルテレビ 別冊

簡単な操作でラジオ、CD、Music Rackなどを聞いたり、停車中には、地上デジタルテレビ、DVDビデオ、外部入力の映像などを見ることができます。

止まれ

こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

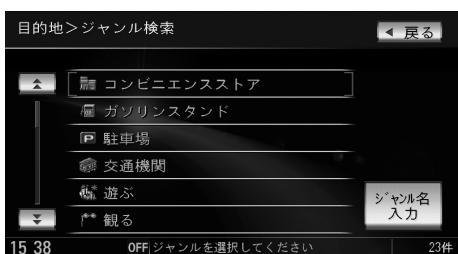
複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。まずは行き先を設定してみましょう。ここでは、ジャンルから選んで、行き先に決定します。

1



MENUボタンを押し、
目的地のジャンルボタンを
タッチします。

2



リストから“ジャンル”を選択し、
タッチします。
さらに細かく“ジャンル”のリストが表
示された場合は種類を選びタッチし
ます。

8



ルート案内が開始されます。

7



全ルート表示され、案内スタート
ボタンをタッチします。

画面上のボタンを選ぶには？

画面ボタンを直接タッチして選びます。



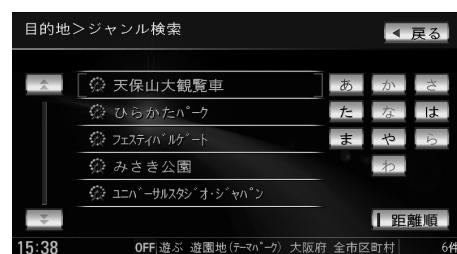
3



リストから“都道府県名”を選択し、タッチします。

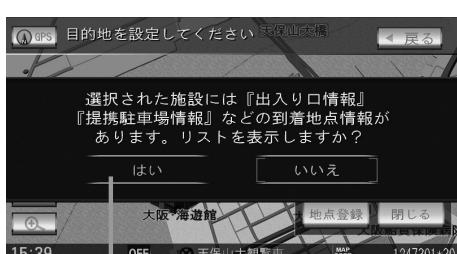
さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選びタッチします。

4



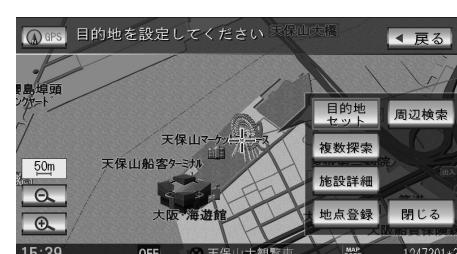
リストから“施設”を選択し、タッチします。

6



* 到着地点情報画面が表示された場合、**はい**ボタンをタッチします。

5



施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して**目的地セット**ボタンをタッチします。



* 印：**はい**ボタンをタッチすると、出入り口情報などの情報リスト画面が表示されます。操作手順については120ページのアドバイスをご覧ください。

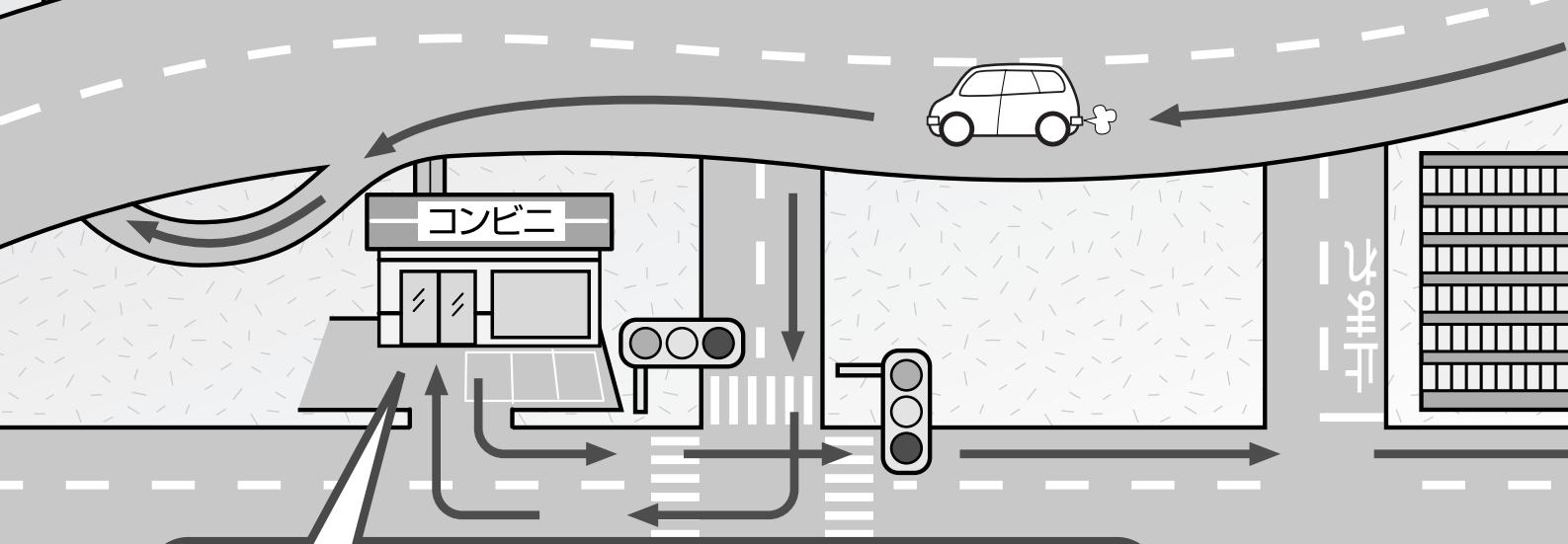
ナビでドライブ!

ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。



いろいろな方法で 目的地を探そう

- 行き先を設定する
(目的地) P81~112
- 地図上から行き先を消去する
(現在のルートを削除する) P139
- ルート案内をやめる
(ルート案内をストップする) P122

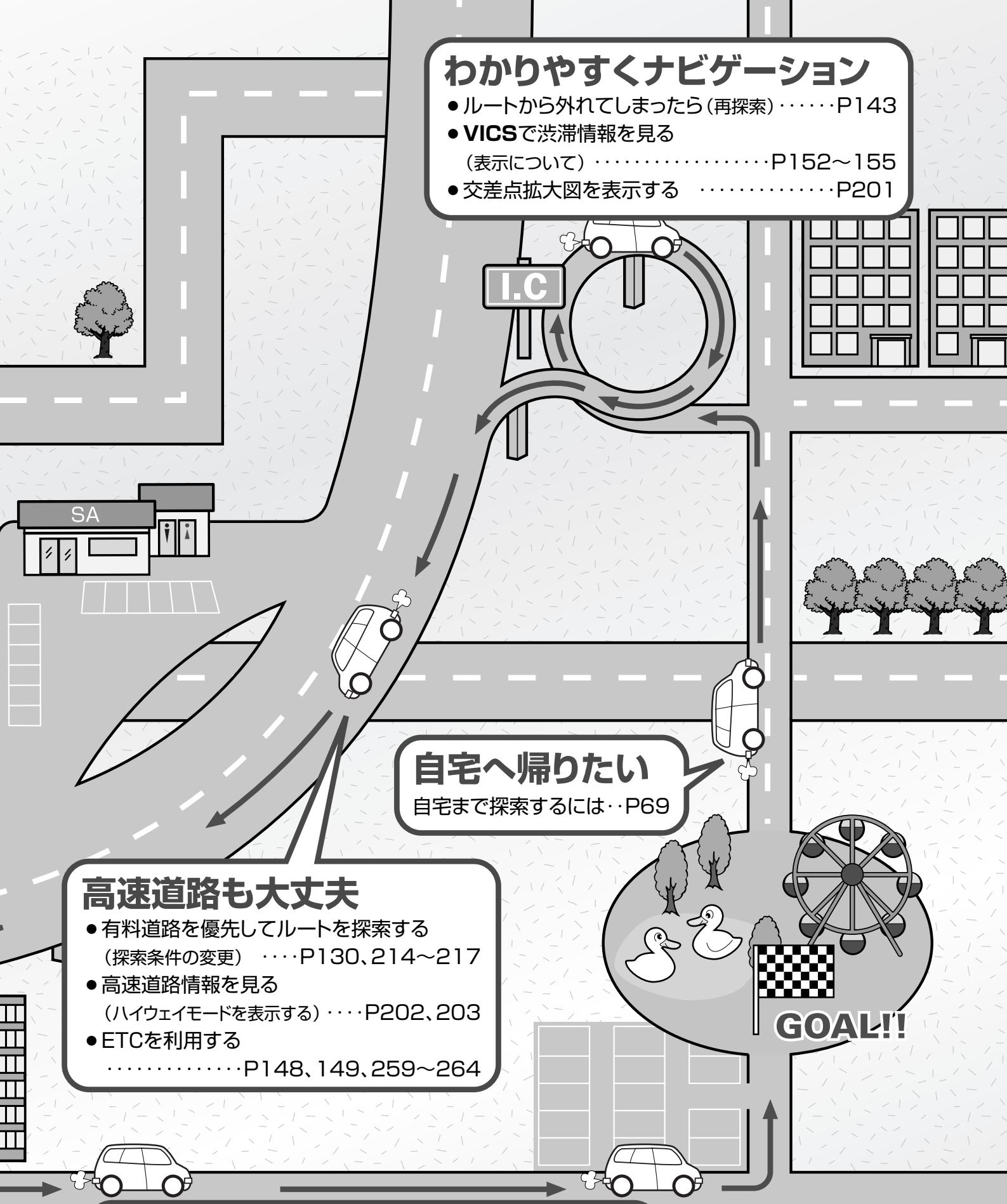


寄り道していくこう

経由地を追加してルート案内をさせる(経由地の追加) P126~128

わかりやすくナビゲーション

- ルートから外れてしまったら(再探索) P143
- VICSで渋滞情報を見る
(表示について) P152~155
- 交差点拡大図を表示する P201



見やすい地図にするには?

- 地図画面の見かた(代表的な画面の表示内容について) P48、49
- 地図を拡大／縮小する P50
- 地図表示(方位)を切り替える P53、54
- 地図を動かす(地図スクロール) P55、56
- 右画面に地図を表示する P70

このシステムを使いこなすヒント

●進行方向を上にして地図を表示したい

地図表示(方位)を切り替える……P53、54

●よく行く場所を登録したい

地点を登録する……………P63、64

●いろいろな行きかたを同時に見たい

1ルート探索・複数ルート探索をする……P118～121

●探索したルートの全体を見よう

現在のルートを表示する ……P132、133

●VICS情報を利用したい

VICS情報を見る ……P150～175

●ETCの利用状況を見たい 別売品

履歴を確認する ……P148

このシステムを便利に使いこなすためのいろいろなヒントを
ご紹介します。

●エコドライブ度を評価したい

エコドライブ情報を設定する … P180～184

●ガソリンスタンドやコンビニなどのマークを表示させて目印にしたい

ランドマークを設定する …… P209、210

●走ってきた道を表示させたい

軌跡を使う ……………… P243～245

●案内音量を大きくしたい

音声案内の音量を調整／案内設定をする … P223～226

●ナビとオーディオを同時に表示したい

右画面に地図／情報を表示する …… P70～75

●音声はそのまま、画面だけ消したい

音声はそのまま画面を消す ……P283

●ルート案内しながら音楽を聞きたい

ナビゲーション画面を表示したままで
音楽を聞く ……P285

別冊

- Music Rackを聞こう
- CDを聞こう
- ラジオを聞こう
- SDカード／USBメモリデバイスを接続して音楽を聞こう
- iPodを接続して音楽を聞いたり、映像を見よう
- DVDビデオを見よう
- 休憩してテレビを見よう
- インターナビを利用しよう

目次(1)

本書の見かた	4
このシステムでできること	5
こんなにかんたん！行き先を決めよう	6、7
ナビでドライブ！	8、9
このシステムを使いこなすヒント	10~12
目次	13~16

はじめに

P17~

安全上のご注意	18、19
使用上のお願い	20~24
主な特長	25~32
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	33
GPS衛星の電波受信と測位	34
GPS(Global Positioning System)について	34
受信しにくい場所について	34
受信するまでの時間について	34
自律航法とマップマッチング	35
現在地の誤差について	35
自律航法＆マップマッチング	35
学習度と現在地	35
ディスクの取り扱いかた	36、37
ディスクを入れる／取り出すには	38
ディスクを取り出すには	38
SDカード／USBメモリデバイスについて	39、40
SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる／取り出すには	42
SDカードを取り出すには	42
ディスプレイ部の角度を調整する	43
各部の名称とはたらき	44

はじめに

地図を表示するには	46、47
現在地表示について	47
地図画面の見かた	48、49
代表的な画面の表示内容について	48
地図を拡大／縮小する	50
地図の縮尺レベル	51
現在地を表示するには	52

ここだけ読んでも使えます

P45~

表示された現在地が実際の現在地と違う場合は	52
地図表示(方位)を切り替える	53、54
見たい地域を探す	55~57
地図を動かす(地図スクロール)	55、56
スクロールの微調整をする	57
メニュー項目一覧	58、59
Quick機能について	60、61
現在地表示時に Quick ボタンをタッチした場合	60
地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合	61
メニューの基本操作	62
地点を登録する	63、64
登録地点について	64
自宅を登録する	65~67
クイック ルート探索をする	68、69
現在地から目的地までのルートを探索する場合	68
現在地から自宅までのルートを探索する場合	69
右画面に地図／情報を表示する	70~75
Quick MENUの設定を変える	76、77
音声案内について	78、79

目的地

P81~

名称で探す [施設50音検索]	82~85
電話番号で探す	86~88
個人宅の電話番号を入力した場合	87
周辺地図が表示された場合	88
住所で探す	89~92
施設のジャンルから探す	93~95
自宅周辺の地図を表示する	96
周辺にある施設から探す	97~99
表示できる施設	100~102
登録地点で探す	103、104
目的地履歴の中から探す・削除する	105、106
地名から探す [地名50音検索]	107、108

目次(2)

目的地

郵便番号で探す	109
緯度・経度で探す	110
マップコードで探す	111
地図から探す	112

ルート

P113~

ルート設定について	114~116
ルート探索について	115
細街路探索について	116
1ルート探索・複数ルート探索をする	117~121
1ルート探索をする	118~120
複数ルート探索をする	121
ルート案内をストップ/スタートする	122
ルートを変更する	123~130
出発地の変更	123、124
目的地の変更	125
目的地の追加	126
経由地の追加	126~128
経由地の変更／削除	129
経由地／目的地など地点の入れ替え	129
探索条件の変更	130
前方の道が通れない(迂回探索)	131
現在のルートを表示する	132、133
ルート詳細情報を表示するには	132
デモ走行をする	134
経由地をスキップする	135
登録ルート	136、137
保存したルートの呼び出し	136
保存したルートの削除	137
現在のルートを保存する	138
現在のルートを削除する	139
渋滞予測ルート探索をする	140~142
ルートから外れてしまったら(再探索)	143
渋滞地点を確認する	144

情報

P145~

渋滞予測地図を見るには	146、147
ETC情報を見るには	148、149
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について	150、151
交通情報(VICS情報)について	152~155
VICS情報の更新に伴う表示変更について	152
交通情報(VICS情報)とは	152
表示について	153、154
マーク一覧表	155
VICS放送局	155

情報

一般情報について	156、157
一般情報とは	156
表示について	156
一般情報の内容(番組)について	156
一般情報放送局	157
操作の前に	158
FM多重の項目一覧	158
操作画面について	158
交通情報／一般情報を表示するには	159
操作の流れ	159
情報の消去について	159
受信する情報(交通情報／一般情報)を選ぶには	160、161
交通情報(文字情報)／一般情報を見るには	162、163
交通情報(図形情報)を見るには	164
緊急情報を見るには	165、166
緊急情報について	166
選局するには	167~172
自動選局	167、168
手動選局	169、170
エリア選局	171、172
放送局をプリセット(保存)するには	173~175
プリセットした放送局を呼び出すには	174
プリセットした放送局に上書きするには	175
ビーコン情報を見るには	176
ビーコンの項目一覧	176
ビーコン交通情報を見るには	176
地図画面について	176
ビーコンの文字情報／図形情報(簡易図形)を見るには	177
ビーコンの緊急情報／旅行時間情報を見るには	178、179
緊急情報について	179
エコドライブ情報の設定をする	180~184
internavi情報／internavi ドライブ情報／QQコールについて	185

メイン画面(地図)の設定を変える	188、189
右画面地図表示の内容を設定する	190、191
3Dの角度を調整する	192、193
地図の色を変える	194、195
表示項目の設定を変える	196~198
ルート案内画面の設定を変える	199~208
全ルートを表示する／しないにするには	199
設定ルートの色を選ぶには	200
交差点情報を表示する／しないにするには	200
交差点拡大図を表示する／しないにするには	201
ルート情報を表示する／しないに するには	202、203
ハイウェイモードを表示する／ しないにするには	202、203
方面看板を表示する／しないにするには	204
リアル3D交差点を表示する／しないに するには	205
JCTビューを表示する／しないにするには	206
ETCレーンを表示する／しないに するには	206、207
AV画面中の案内割り込みを表示する／ しないにするには	207
右画面AV中にルート案内を表示する／ しないにするには	208
ランドマークを設定する	209、210
カーマークの種類を変える	211
現在地(自車)の位置を変更する	212、213
ルート探索条件の設定をする	214~217
VICS表示の設定をする	218、219
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／ しない”について	219
ビーコン車種設定について	220
ビーコンの割込み表示を設定する	221、222
音声案内の音量を調整／ 案内設定をする	223~226
音声案内の音量を調整するには	223
音声案内を止めるには	223
合流案内／踏み切りの案内設定を変えるには	224
専用レーン案内の案内設定を変えるには	224
高速走行時の音声切り替え設定を変えるには	225
VICS案内の設定を変えるには	225
平均速度を設定する	227
登録地点の編集／見る	228~233
登録地点の並び替えをする	234、235
自宅／登録地点の地図を呼び出す	236、237
自宅／登録地点を削除する	238、239
SDカードから地点を登録する	240、241

パーソナルHPと同期について	242
軌跡を使う	243~245
軌跡の記録をする	243
軌跡の記録を止める	244
軌跡の表示を止める	244
軌跡を表示する	244
軌跡を削除する	245
internavi設定について	246

携帯電話について	248
オプションボタンの設定をする	249、250
機能の内容について	250
画像を見る	251、252
画像を追加する	253~255
画像をSDカード／USBメモリーに コピーする	256~258
ETCの各機能を設定するには	259、260
ETCについて	261
ETCの基本操作	262
ETCを起動する	262
ETCカードを取り出す	262
ETCを利用するには	263、264
料金所通過表示について	263
予告案内／警告表示について	263、264
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を 表示するには	265~270
フロントカメラ／コーナーカメラの 設定をする	265、266
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を 表示するには	267
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて 使用する場合	267
フロントカメラ／コーナーカメラ地点を 登録する	268
コーナーカメラガイドを表示するには	269
コーナーカメラガイドの見かた	269、270
カメラの映像について	270
リアカメラ映像を表示するには	271~273
リアカメラ映像を表示するには	271
リアカメラガイドを表示するには	271
リアカメラガイドの見かた	272
警告文の位置を下げるには	273
カメラの映像について	273
キー操作音を設定する	274
データを初期化(消去)する	275、276
地図更新／バージョン情報について	277

目次(3)

その他

P279~

画面のイメージを変える	280
画質調整のしかた	281、282
明るさ調整の場合	281
コントラスト調整の場合	282
色の濃さ調整の場合	282
色合い調整の場合	282
初期値に戻すには	282
音声はそのまま画面を消す	283
ボタンの照明について	283
ナビゲーション画面から他のモードに替える	284
ナビゲーション画面を表示するには	284
ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞く	285
音楽／音声の再生を止めるには	285
リモコンを使う	286～301
安全上のご注意	286、287
使用上のご注意	287、288
リモコンに電池を入れる	289
リモコンをホルダーから取りはずす	290
リモコンをホルダーに収める	290
リモコンの主な便利機能	291
各部の名称とはたらき	292～299
リモコンの10キーで文字を入力するには	300
10キーでの文字の入力のしかた	301
ルート案内時の注意点	302～305
出発地・経由地・目的地の設定について	306、307
経由地、目的地の登録のポイント	306
経由地を使って上手にルートを作る	307
地図ソフトについて	308～311
地図に表示される記号	312、313
市街地図(5m／12m／25m／50mスケール)の収録エリア	314～317
細街路(主要市区町村道路)探索エリア	317
VICSの概要	318、319
VICS情報有料放送	
サービス契約約款	320、321
故障かな?と思ったら	322～326
こんなメッセージが出たときは	327

その他

初期設定一覧	328、329
別売品(システムアップ)について	330、331
主な仕様	332
構成内容	333、334
保証／アフターサービスについて	335

索引

索引	338～340
----	---------

P337～

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

はじめに

安全上のご注意	18、19
使用上のお願い	20~24
主な特長	25~32
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	33
GPS衛星の電波受信と測位	34
GPS(Global Positioning System)について	34
受信しにくい場所について	34
受信するまでの時間について	34
自律航法とマップマッチング	35
現在地の誤差について	35
自律航法＆マップマッチング	35
学習度と現在地	35
ディスクの取り扱いかた	36、37
ディスクを入れる／取り出すには	38
ディスクを取り出すには	38
SDカード／USBメモリデバイスについて	39、40
SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる／取り出すには	42
SDカードを取り出すには	42
ディスプレイ部の角度を調整する	43
各部の名称とはたらき	44

安全上のご注意

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

△警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
△注意	指示に従わないと傷害を受ける可能性があるもの

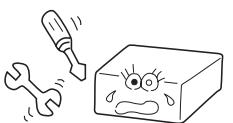
また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

△ : △は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。

○ : ○は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。

● : ●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

！ 警告

 テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。 車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。	
 実際の交通規則に従って走行してください。 ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規則、道路標識に従って走行してください。	
 当商品を分解したり改造しないでください。 故障の原因となることがあります。	
 フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。 直接目視による安全確認をしながら運転してください。	
 リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。 後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。	
 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。 万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。	

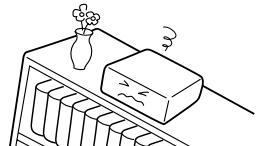
⚠ 注意

🚫 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。



❗ 運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車して使用してください。
テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

🚫 本機を車載用以外としては使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。



❗ 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



🚫 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

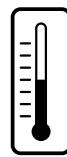
🚫 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

❗ 本機の放熱部に手を触れないでください。
放熱部の熱でやけどをする場合があります。

使用上のお願い(1)

温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。



結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、販売店にご相談ください。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびなどの症状がみられることがあります。
振動が止むと通常の動作に戻ります。



ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0°C以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
 - 走行中は、細街路を表示しません。
ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面
- ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になると、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



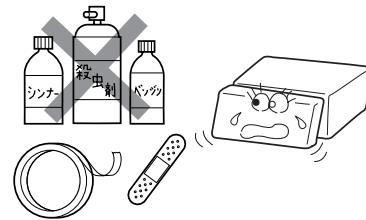
お手入れについて

<ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。)
ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

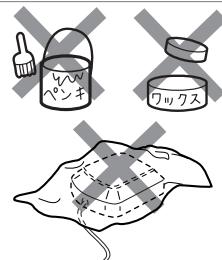
<本機の清掃>

- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



GPSアンテナについて

- GPSアンテナにペンキや車のワックスなどを塗らないでください。
受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。
GPS衛星の電波を受信できなくなります。



フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ（車内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布でふいてください。) 有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任をおいかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
【】「データを初期化(消去)する」275、276ページ
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のデータや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地点など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

使用上のお願い(2)

その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
- ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるために電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めの販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起きたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- 操作パネルの開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
- 操作ボタンや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいで、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、**TILT**ボタンを押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- 寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

●画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このような時はただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。



●本機がぬれたり、本機の中に水が入ったりしないようにご注意ください。
火災や感電の原因となります。



●ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。
けがの原因になることがあります。



●長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。(収納ケース等に保管してください。) 長時間、本機内に入れておくと、
高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。



●停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。

●安全運転の配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車してください。

使用上のご注意(3)

スマートキーの動作について

スマートキーが装着されている車両では、スマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内を使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アリックスの登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

主な特長(1)

ナビゲーション

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

Quick機能

よく使う機能をQuick MENUに追加することができます。表示する順番も選べ、使いやすいQuick MENUに設定できます。

☞ 「Quick MENUの設定を変える」 76、77ページ

ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、テレビやDVDビデオ画面を表示中に音声案内を割りませたりすることができます。

☞ 「ナビゲーション画面から他のモードに替える」 284ページ

☞ 「ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞く」 285ページ

右画面AV表示機能

画面を2分割して左にナビ画面、右にオーディオ画面を同時に表示することができます。

☞ 「■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合」 73~75ページ

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

☞ 「現在地から目的地までのルートを探索する場合」 68ページ

また、あらかじめ自宅を登録しておくと、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

☞ 「自宅を登録する」 65~67ページ

☞ 「現在地から自宅までのルートを探索する場合」 69ページ

電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探すことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報 約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

☞ 「電話番号で探す」 86~88ページ

☞ 「住所で探す」 89~92ページ

ハイブリッド検索

名称(施設50音)で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「名称」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

☞ 「名称で探す[50音]」 82~85ページ



主な特長(2)

ナビゲーション

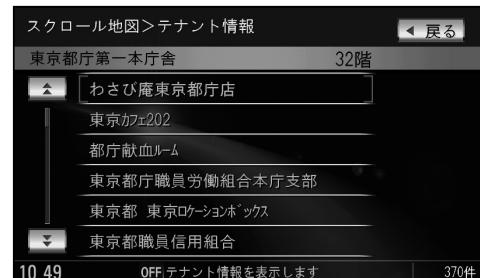
ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(5m/12m/25m/50m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチするとテナント情報を見るることができます。

【参考】「Quick機能について」60、61ページ

- ※ ●データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。
- ビル名のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。



目的地到着までのルートを表示してくれる

目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行ないます。

探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT、渋滞／規制情報などを音声で案内します。

高速道路のジャンクションを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

【参考】「ルート案内画面の設定を変える」
206ページ



行き方の候補を5種類表示(複数ルート探索)

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。

自動(推奨ルート)探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

【参考】「複数ルート探索をする」121ページ



進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを橙色で表示させることができます。

 「ルート案内画面の設定を変える」
201ページ



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを矢印で表示し、交差点情報を表示させることができます。

 「ルート案内画面の設定を変える」
200ページ



案内標識を表示(方面看板)

国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

 「ルート案内画面の設定を変える」
204ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



リアル3D交差点を表示(シティリアル交差点拡大)

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)に案内します。(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京23区・横浜・川崎・新潟・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪・堺・神戸・広島・福岡・北九州の中心部の一部交差点)

 「ルート案内画面の設定を変える」205ページ
※すべての交差点において収録されているわけではありません。



主な特長(3)

ナビゲーション

詳しい交通情報を教えてくれる

VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すれば、ビーコンのVICS情報を見ることができます。

☞ 「VICS」 150~175ページ ☞ 「VICS(ビーコン)」 176~179ページ

統計交通情報

日時・曜日を指定して過去のVICS渋滞統計データから渋滞予測地図を表示することができます。

一方通行規制箇所がわかる

一方通行表示

5m/12m/25mの市街地図表示のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」 53、54ページ

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法^{*1} & マップマッチング^{*2}

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報をを利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

エコドライブ

GPSの信号や車速情報を基に、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

☞ 「エコドライブ情報の設定をする」 180~184ページ

インターナビ

□ インターナビ・プレミアムクラブ編(別冊)

インターナビ機能

Bluetooth機能付きの携帯電話を使用して、渋滞予測情報やVICS情報を利用したルート案内や天気情報やドライブ情報などのインターナビサービスを利用できます。

※インターナビを利用するには、別途サービスのお申し込みが必要になります。

QQコール機能

QQコール ボタンタッチでQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示します。オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などを受けたりすることができます。

※QQコール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要となります。

地上デジタルテレビ

□ オーディオ編(別冊)

地上デジタルテレビ放送とワンセグ

本機に内蔵の地上デジタルテレビ放送用チューナーで、地上デジタルテレビ放送を受信できます。ドライブ先の天気予報や交通情報などのデータ放送を表示したり、番組表から今放送中の番組を選局することもできます。また、携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」も見ることができます。

12セグ／ワンセグ自動切替機能

お車の受信状況によって12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えることができます。

Music Rack

□ オーディオ編(別冊)

Music Rack機能

大容量のハードディスクを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。(自動録音設定時) Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で(アルバム名／アーティスト名／プレイリスト／ジャンル／ミュージックエスコート)選曲モードに振り分けられるため、絞り込んだ検索が便利です。

マッハリッピング機能

本機へ音楽CDを録音するとき、再生させながら録音する等速リッピングと最大14倍速で録音していくマッハリッピングがあります。マッハリッピングにより録音時間の短縮が便利です。

BeatJam対応

別売のUSB接続コード＆BeatJamに付属のBeatJamソフトを使用してパソコン上で管理している音楽ファイルを本機へ転送して聞くことができます。

※パソコンから転送できる音楽データはATRAC3・ATRAC3plusとなります。

主な特長(4)

D
V
D
ビ
デ
オ
/
C
D
/
ラ
ジ
オ

□オーディオ編(別冊)

CPRM対応

本機では、DVD-R/RWにビデオレコーディングモード(VRモード)にて録画されたディスクが再生できます。さらに、デジタル放送などを録画したCPRM対応のディスクが再生できます。

マルチ音声機能

お好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチ字幕機能

お好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチアングル機能

複数のアングルで収録されているDVDビデオの場合、好きなアングルに切り替えることができます。

演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

道路交通情報

交通情報を受信することができます。

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

自動選局

放送局を自動的に選局します。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。

□オーディオ編(別冊)

ハンズフリー機能

携帯電話を持たなくても通話することができます。

□別冊のオーディオ編 316~351ページ

リア席モニター対応

別売のリア席モニターに接続し、DVDなどの映像を映すことができます。

□別冊のオーディオ編 358ページ

VTRコード対応

別売のVTRコードを使用して市販のビデオカメラなどを接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。

□別冊のオーディオ編 252、253ページ

リアカメラ対応

別売のリアカメラを接続すれば、車のシフトレバーをリバースに入れたとき、画面をリアカメラ映像にすることができます。

□271~273ページ

フロントカメラ対応

別売のフロントカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をフロントカメラ映像にすることができます。

□265~270ページ

コーナーカメラ対応

別売のコーナーカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をコーナーカメラ映像にすることができます。

□265~270ページ

オプションボタン選択機能

本機のOPTIONボタン(●)によく使う機能を設定することができます。

※別売のフロントカメラ/コーナーカメラを接続している場合はできません。

□249、250ページ

ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

□148、149、259~264ページ

VICSビーコン対応

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すると、より詳細な渋滞情報などビーコンの交通情報を取得することができます。

□176~179ページ

主な特長(5)

その他の 特長

□[○]オーディオ編(別冊)

USB対応

別売のUSB接続コード(USBコードA)を使用してUSBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ)(ATRAC AD対応)ウォークマンのJPEG画像データ／音楽データの再生することができます。

□[○]253～258ページ

□[○]別冊のオーディオ編 296～313ページ

iPod対応

別売のiPod接続コードを使用して、本機で音楽再生や映像再生などのiPodの操作をすることができます。

□[○]別冊のオーディオ編 272～293ページ

SDカード対応

市販のSDカードを使用してJPEG画像を見る、または追加したり、音楽データを再生することができます。

□[○]253～258ページ

□[○]別冊のオーディオ編 256～269ページ

VGAモニター

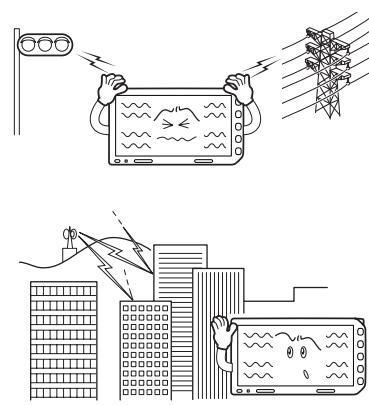
高解像度(800×480 ドット)により高精細なVGAモニターを使用しているので、どこから見ても美しく高画質な画面です。

広視野角液晶ディスプレイ

広視野角液晶ディスプレイを使用しているので、どの角度からでも美しい画面を見ることができます。

オーディオ/テレビ/ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場、スピーカー仕様などの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
 - 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
 - 固定受信(ハイビジョン放送等)や携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
 - ワイヤー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

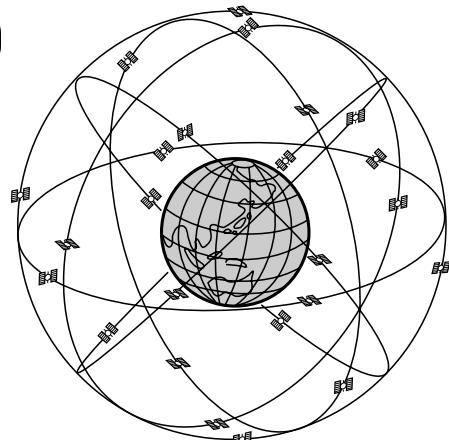


GPS衛星の電波受信と測位

GPS(Global Positioning System)について

地球の周り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができます。

※ 本機では高度は表示しません。



受信しにくい場所について

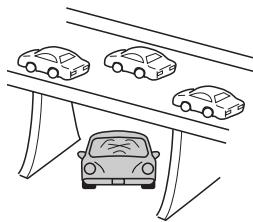
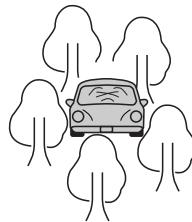
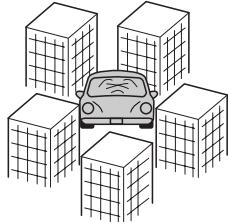
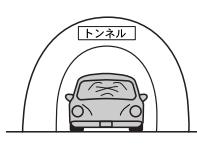
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるために。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位置表示の背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法^{*1} & マップマッチング^{*2}

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、3次元のセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

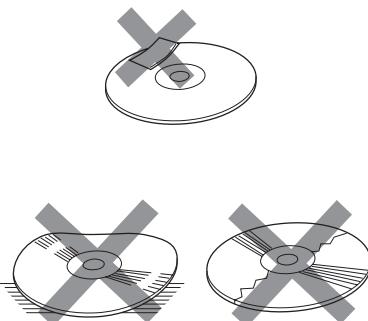
「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行によりますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にズレが発生する場合があることをご承知ください。

ディスクの取り扱い方

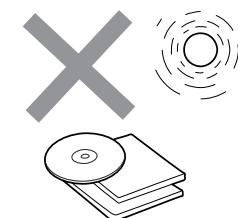
- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。



- 印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。



- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。



- 長時間使用しないときは汚れ、ゴミ、キズをつけたり、ディスクがそらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所には放置しないでください。

- 特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上など。
- 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接あたる場所。

- ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなどの誤動作の原因になる場合がありますので、ケースからの出し入れにご注意ください。

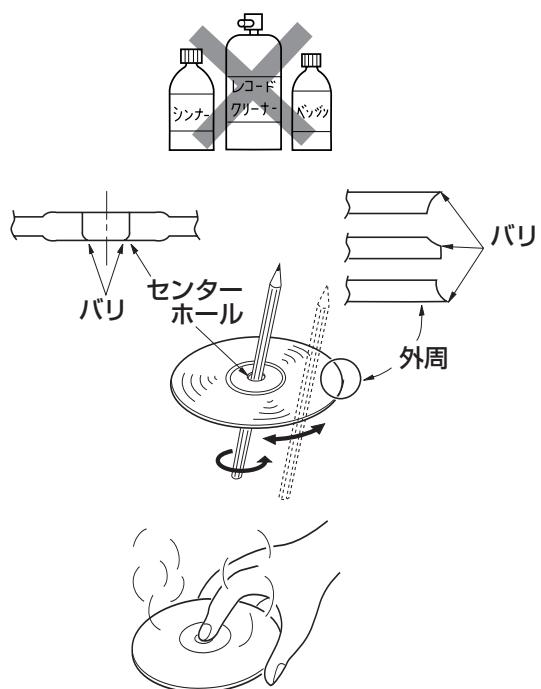
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることができますので、使用しないでください。

- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。

これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。

この場合には右図のように、あらかじめ鉛筆等でバリを取り除いてからお使いください。

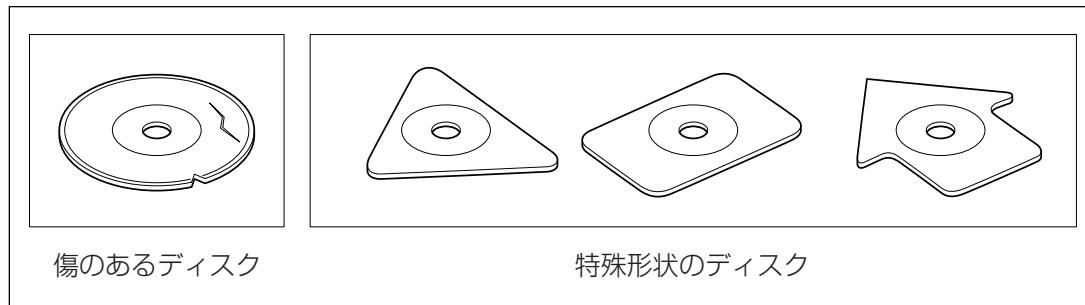
- ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。



● 8cmディスクには対応していません。

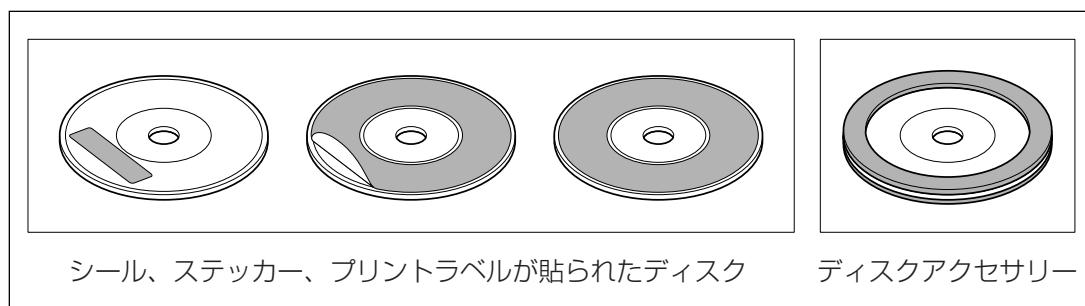
● 特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



● ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



● CD-R/RWディスクのご使用について

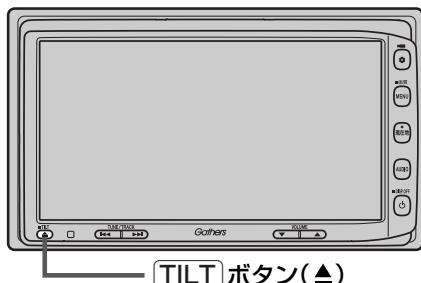
- ・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・ビデオCDは、再生できません。

ディスクを入れる／取り出すには

1

TILTボタン(▲)を押す。

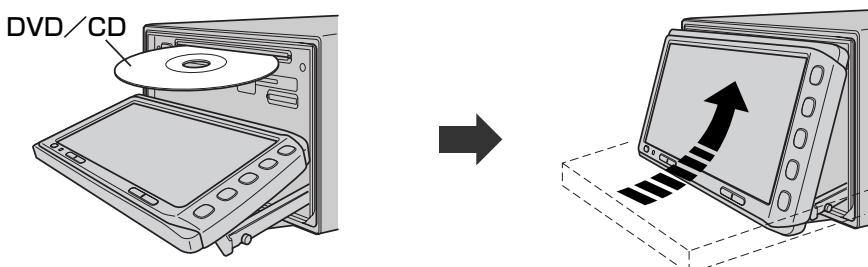
：ディスプレイ部が開きます。



2

ディスク入口にDVD／CDを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



DVD／CDは印刷面を上にして挿入してください。

ディスクを取り出すには

1. 上記手順の 1 にしたがって、ディスプレイ部を開き、DVD/CDイジェクトボタン(▲)を押してDVD／CDを取り出す。
2. TILTボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



アドバイス

- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間ご使用になった後ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ディスクを挿入すると、自動でディスクの再生がはじまります。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当ったり、思わずぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中にTILTボタン(▲)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

SDカード／USBメモリデバイスについて(1)

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

- ・SDメモリーカード
- ・miniSDカード*
- ・SDHCメモリーカード
- ・microSDカード* *専用のアダプターが必要です。

※miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。

- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

■16GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。

USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作補償できません。 [書]別冊のオーディオ編 296ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

[書]「データを初期化(消去)する」275、276ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なってから使用してください。

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じことがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／ハードディスクにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを0(OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

はじめに

【ディスクを入れる／取り出すには】

【SDカード／USBメモリデバイスについて】

SDカード／USBメモリデバイスについて(2)

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

■本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。

- 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56~62ページ
- 画像の追加やコピー
 -  「画像を追加する」253~255ページ
 - 「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256~258ページ
- 別冊のオーディオ編 音楽再生  255~269ページ
※対応可能なSDカードにつきましては257ページを参照してください。

■本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。

- 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56~62ページ
- 画像の追加やコピー
 -  「画像を追加する」253~255ページ
 - 「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256~258ページ
- 別冊のオーディオ編 音楽再生  255~313ページ

■SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

■長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

■SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。

■SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。

■SDカードの最適化は行わないでください。

■書き込み中や読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使わないでください。データが破壊されることがあります。

■SDカード内のデータは圧縮しないでください。

■操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

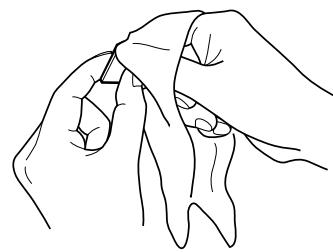
■SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。

■SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

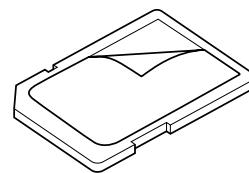
※本書ではSDメモリーカード・SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

SDカードの取り扱い

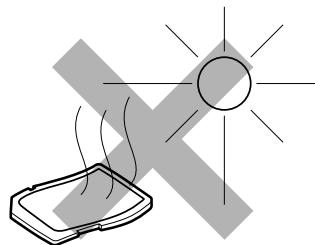
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



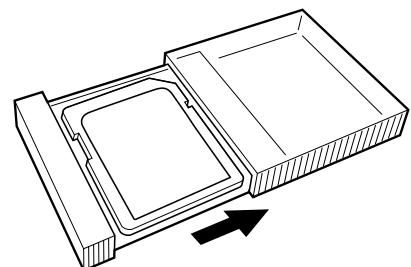
- ラベルがはがれたり、ネームテープ（ラベル）が貼つてあるSDカードは使用しないでください。



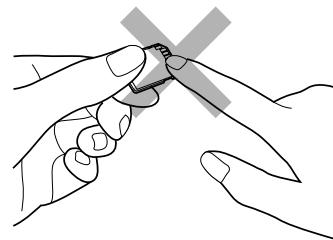
- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。



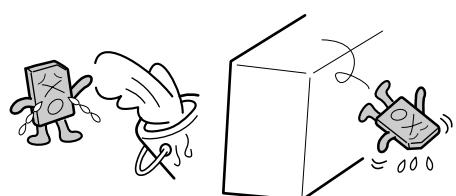
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

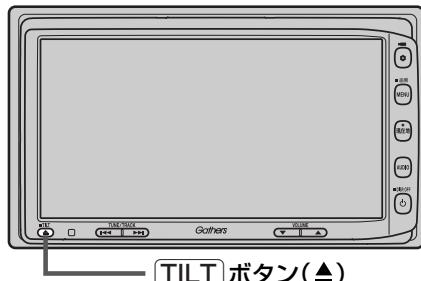


SDカードを入れる／取り出すには

1

TILTボタン(▲)を押す。

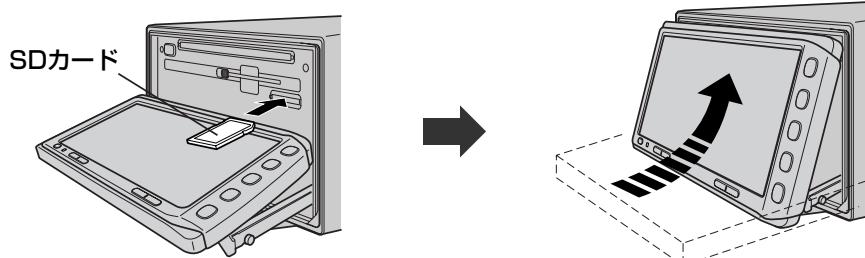
：ディスプレイ部が開きます。



2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで挿入してください。

SDカードを取り出すには

- 上記手順の 1 にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。
- TILTボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



- アドバイス
- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
 - 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

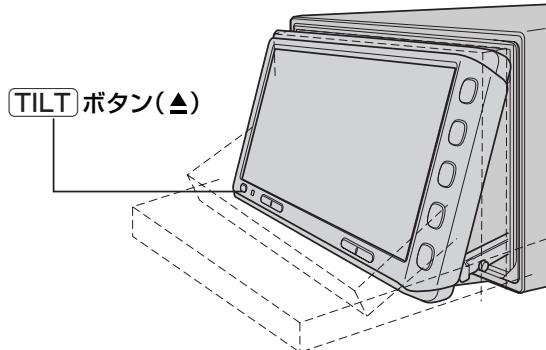
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わず手をかけることがあります。
- SDカード挿入中にTILTボタン(▲)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- SDカードの抜き差しは、ナビゲーションモードの場合は必ず車のエンジンスイッチをO(OFF)に、AUDIOモードの場合は必ず操作パネル上の[電源]ボタン(↓)を押してモードを終了(OFF状態に)させてください。終了させないで抜き差しするとデータやSDカードがこわれることがあります。

ディスプレイ部の角度を調整する

1

[TILT]ボタン(▲)を長押しする。(約0.7秒以上)

ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。ボタンを長押しするごとに1段階ずつ傾きます。
(全5段階)



アドバイス 角度調整をしても車のエンジンスイッチをO(OFF)にすると、ディスプレイ部は自動で閉じます(収納される)が、次回、車のエンジンスイッチをI(ACC)またはII(ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。



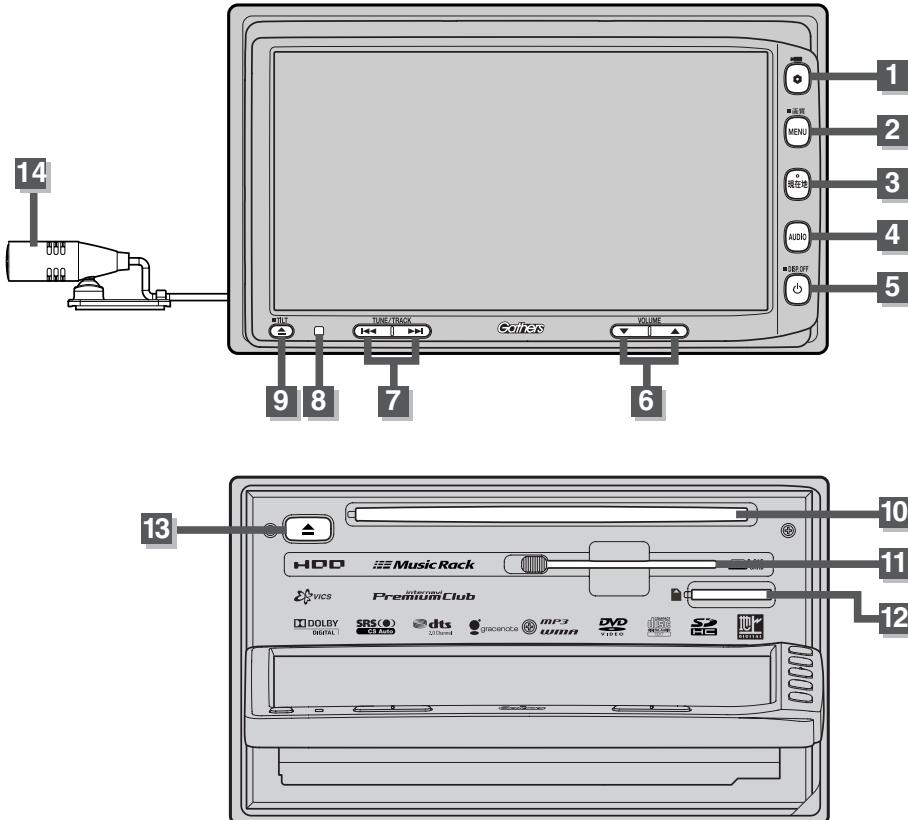
角度調整をするときは手や指などをはさまないよう注意してください。
けがや、ディスプレイの故障原因になります。

はじめに

〔SDカードを入れる／取り出すことは〕／〔ディスプレイ部の角度を調整する〕

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“○○ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“○○ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。



1 [OPTION] ボタン(○)/ (■)

- 別売のフロントカメラ／コーナーカメラ映像画面を表示します。(267ページ)
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(249、250ページ)

2 [MENU] ボタン

- メニュー画面を表示します。(58、59ページ)
- 長押しすると画面設定画面が表示されます。(280~282ページ)

3 [現在地] ボタン

現在地の地図を表示します。(52ページ)

4 [AUDIO] ボタン

AV MENU画面を表示します。(284、285ページ)

[電源] ボタン(○)

- オーディオ操作をON／OFFするときに使います。(285ページ)
- 画面を消すときに長押しします。(283ページ)

6 [VOLUME] ボタン(▼/▲)

オーディオの音量を調整します。

7 [TRACK] / [選局] / [スキップ] ボタン (◀/▶)

オーディオ操作で好きなトラックや放送局を選んだり、早送り／早戻しをすることができます。

8 リモコン受光部 (288ページ)

9 [TILT] ボタン(△)

- ディスク／SDカードを出し入れするときに押します。(38、42ページ)
- 画面の角度を調整するときに長押しします。(43ページ)

10 ディスク挿入口 (38ページ)

11 B-CASカード挿入口／ (別冊のオーディオ編197ページ)

12 SDカード挿入口 (42ページ)

13 [DVD/CDイジェクト] ボタン(△) (38ページ)

14 マイク

ハンズフリー通話で使用します。
(別冊のオーディオ編316、317ページ)